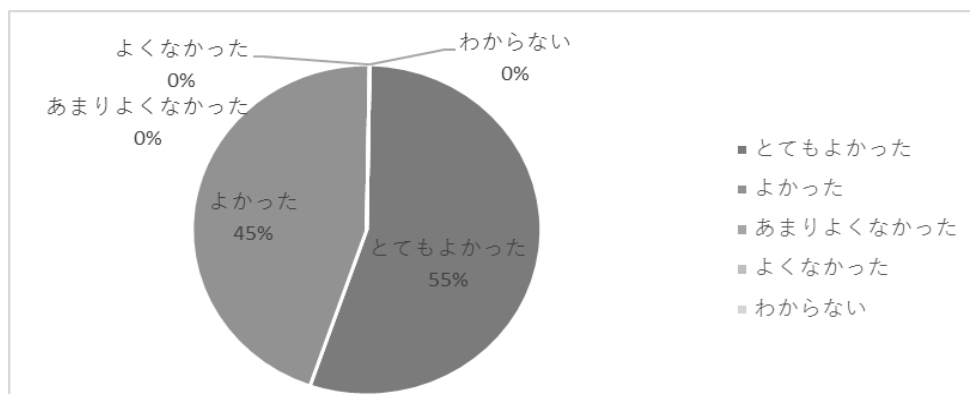


令和5年度幼保交流研修会（園小架け橋研修）感想アンケート

幼児教育センター

1 今回の幼保交流研修会（アプローチカリキュラムについて）はいかがでしたか？



① とてもよかった 11人

【園関係者】

- 環境を作る大切さを改めて実感した。
- 幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿について、どのようなことが求められているのかということがよく分かった。
- こども園での保育や10の姿が、小学校の教科や学習に繋がっていることを分かりやすくお話しいただき、再確認できた。
- 新たな気付きや発見がたくさんあった。

【小学校関係者】

- 今、小学校でやっていることが、本当にアプローチカリキュラムにつながっているのか、じっくり考えることができた。
- アプローチカリキュラムについて考えるきっかけとなった。

② よかった 9人

【園関係者】

- 保育のヒントとなる資料・映像があった。
- 写真入りの10の姿が見やすく、分かりやすかった。具体的にしばざくら幼稚園等の資料や動画を交えて学ぶことができ、自分の保育を見直すきっかけとなった。
- 幼児期の教育から小学校以降の教育の繋がりについて、とても分かりやすかった。

【小学校関係者】

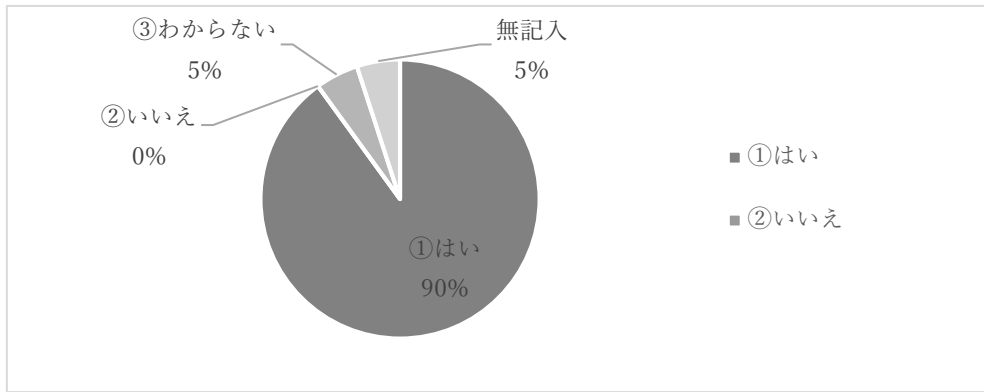
- 中学校教諭としてやってきた自分にとっては、目新しい内容で大変勉強になった。
- 入学してきた1年生が、どれくらいの力量をもっているか、どのような体験をしているかを知ることは、指導のヒントになることを再認識した。

③あまりよくなかった 0人

④よくなかった 0人

⑤わからない 0人

2 本日の研修内容について理解が深まりましたか。



- | | |
|---------|-----|
| ① はい | 18人 |
| ② いいえ | 0人 |
| ③ 分からない | 1人 |
| ④ 無記入 | 1人 |

3 今日の学習会の感想や学んだこと、気付いたこと等記入ください。

【園関係者】

- 子どもたちの興味・関心があることを日々の保育に取り入れ、考えられる環境を作っていきたい。
- 子ども達が興味関心をもって遊ぶ中での気付き、発見がとても大きな学びになることが分かった。
- 子ども自身が体験してつかみ取ったことが知識になっていくと学んだ。
- 2歳児（小さい年齢）でも、その年齢なりの気付きがあり、様々な学びがある。その学びが小学校の学び（単元）につながっていく、ということが、写真や言葉での補足で見えてきた。
- 自発的な没頭できる遊びに、子ども達が十分取り組めるような、環境、時間の工夫の大切さを改めて感じた。
- 10の姿を園の取組として、小学校へ引き継いでいくことの大切さも感じた。
- 遊びの中で、トキメキ⇔ヒラメキ・イメージ⇔気付き・発見、のサイクルをたくさん味わえることが、子ども達の育ちや経験値に繋がっていくことになる。子どもの思いや願いを引き出せるよう働きかけたい。
- 子ども自身が思いや願いをもつ。意欲・好奇心・探求心を育む。自信・成長・自分らしさを育む。
→架け橋期の接続カリキュラムにおいて、幼児期でも小学校でもこれらを位置づけると良い。
- 園庭の環境を子ども達の自発的な遊びができる環境であるのか、見直したいと思った。幼児期のヒラメキ、トキメキ、気付き発見が、学びの土台になる遊びの大切さを、園で共通理解したい。

【小学校関係者】

- 10の姿と育てほしい活動例は大変参考になった。本市では非認知能力の育成に力を入れているが、そのヒントも多くあり、「非認知能力とは」について具体化を図りたい。
- 「10の姿」は、小学校で育成を目指している「非認知能力」の内容と相通じる。この部分に焦点を当てて、系統立てたカリキュラムを作り、園小の架け橋にできればと思った。
- 自発的な遊びに学びがある、ということを学べた。
- 子ども主体として学んでいくことの大切さを改めて実感した。授業で、トキメキの部分を大切に、モチベーション作りに力を入れていきたい。またヒラメキには試すことが大切だと思った。試すことには必ず失敗がある。失敗できる時間と選択肢を与えられる工夫をしたい。
- 学校生活の中で、子どもの自主性を引き出す働きかけや環境の準備（意図）が、課題である。
- しばざくら幼稚園のアプローチカリキュラムは、小学校の取組においても大変参考になる。非認知能力の10の姿について、園として目指すねらいや、そのための活動、またその具体的な園児の姿（言葉）が表されており、本校の取組にも生かしたい。アプローチカリキュラムを実践的なものにするためには、教員の意図やねらい、願いを十分共有することが前提になると思った。

4 今後実施してほしい研修内容（園小架け橋研修）がありましたら、記入ください。

【園関係者】

- 園と小の先生がそれぞれ子どもについて話したり、意見を交換できたりするような場が欲しい。
（園⇄小で見学も行くが、もう少しじっくり話したい。）
- 活動内容と学習との繋がりを、互いに確認できるような場（研修）が欲しい。

【小学校関係者】

- どんな内容でも積極的に参加し、勉強したい。
- 園と小の先生方でテーマを決めて討議する。
- ここから園小の取組を一步進めるためには、校区の園小の教員が実際に顔を合わせて、コミュニケーションをとり、互いの取組を知りながら、試行錯誤することが重要だと思う。研修の中で校区の先生と課題について話し合う機会をいただけたら嬉しい。